デイリー・コーポレートアクション・レポート

東証上場企業の主な開示／2026 年 10 月 21 日（水）　発行：ていネコの投資ノート

本日のポイント

- 最重要：SBI ホールディングス子会社による BASE（4477）株の部分 TOB（1 株 340 円、上限は所有割合 20.67%）の買付期間が本日満了。結果は通常どおりなら 10 月 22 日に公表され、決済開始は 10 月 28 日の予定です。
- 全体の傾向：本日引け後に新規の TOB・MBO・経営統合は確認できませんでした。市場区分の変更（GA テクノ→プライム）、事業の切り出し（エス・エム・エスの会社分割）、増配（岡野バルブ製造）など中小規模の開示が中心の一日でした。
- 株主の注意点：TOB の期間終了が続きます（シェアリングテクノロジー 10/27、カカクコム 10/28、かどや製油・レオパレス 21 10/30）。証券会社の応募受付は期間終了日より早く締め切られることがあるので確認を。10 月末権利の権利付最終日は 10 月 28 日です。

1．本日の主な開示

前日 10 月 20 日 18 時ごろから本日 10 月 21 日 20 時ごろまでに確認できた開示を、重要度の高い順に並べました。

種類	コード	会社名（市場）	概要	株主への影響
TOB（期間満了）	4477	BASE（グロース）	SBINM 合同会社（SBI ホールディングス系）による部分 TOB。1 株 340 円、買付上限 23,792,300 株（所有割合 20.67%）、下限なし。本日 10/21 で買付期間満了	上場は維持。応募が上限を超えれば按分比例で一部のみ買付け。結果公表は 10/22、決済開始は 10/28 の予定
市場区分変更	3491	GA テクノロジーズ（グロース→プライム）	東証がプライム市場への市場区分変更を承認。10/28 付で変更	手続きは不要。保有株はそのままプライム銘柄になる
株式併合（非公開化の手続き）	3544	サツドラ HD（スタンダード）	MBO 成立後のスクイーズアウトのための株式併合について、法定の事前開示書類を公表（11/6 臨時株主総会、上場廃止は 11/25 予定）	端数の代金は 1 株 1,260 円（TOB 価格と同額）の予定。反対株主は買取請求も可能
会社分割	2175	エス・エム・エス（プライム）	データヘルス事業をメドケアへ吸収分割（対価 1 円）。ストレスチェック事業は新設分割した子会社の全株式をウェルネス・コミュニケーションズへ譲渡。いずれも 12/1 効力	対象事業は連結売上高の約 1%強で業績影響は軽微と会社は説明。手続きは不要
事業取得・合併	366A	ウェルネス・コミュニケーションズ（グロース）	上記のストレスチェック事業を承継する新設会社を買収し、吸収合併	手続きは不要。取得価額は非開示
増配	6492	岡野バルブ製造（スタンダード）	2026 年 9 月期の年間配当予想を 80 円→110 円に引上げ（期末 40 円→70 円）。経常利益予想も約 34%上方修正	9 月末時点の株主が対象。手続きは不要
市場区分変更（申請）	7687	ミクリード（—）	スタンダード市場への市場区分変更を申請	承認されるまで変更はない。手続きは不要

種類	コード	会社名(市場)	概要	株主への影響
その他	—	—	前日10/20引け後(本日朝に報道):ウェルディッシュ(2901)が無配転落と株主優待の廃止(2026年8月末基準が最後)、ニチリョク(7578)とデコルテHD(7372)が優待を拡充、note(5243)がプライム市場への変更申請の準備を決議。本日:メディシノバ(4875)が米国で新株発行(規模は未確認)	優待・配当の変更は次回の基準日以降に影響

2. 注目案件の解説

BASE(4477):SBIによる部分TOBの期間が満了

決まったこと:SBIホールディングス系のSBINM合同会社が8月31日から実施していたBASE株の公開買付けが、本日10月21日に買付期間の最終日を迎えました。大株主の牧寛之氏が30%超を目指して市場での買い増しを再開すると伝えたことを受けて訂正届出書が出され、期間は当初の10月15日から2回延長されていました。

条件:TOB価格は1株340円。発表前日(8月28日)の終値316円に対するプレミアムは約7.6%(筆者算出)。買付上限は23,792,300株(所有割合20.67%)で、下限はありません。上場は維持される方針で、BASEの取締役会は賛同しつつ、応募するかどうかは株主の判断に委ねる(中立)としています。

株主がとれる対応:期間は本日で終わったため、新たな応募はできません。応募済みの方は、結果の公表(10月22日予定)で応募総数と按分の比率を確認してください。上限を超えた場合、買い付けられなかった株は返却されます。応募していない方は手続き不要です。

論点・注意点:SBIの上限は約2割にとどまり、牧氏の保有と合わせて大株主2者が並ぶ構図になります。今後の資本政策や、牧氏側の動きによっては株価の変動が大きくなる可能性があります。

GAテクノロジーズ(3491):10月28日付でプライム市場へ

決まったこと:東京証券取引所が、グロース市場からプライム市場への市場区分変更を承認しました。変更日は10月28日です。

条件:会社は2026年10月期について、売上高3,230億円(前期比29.7%増)、営業利益100億円(同41.5%増)を見込んでいます。

株主がとれる対応:手続きは不要です。保有株はそのままプライム市場の銘柄になります。

論点・注意点:市場変更の前後は、指数やファンドの買いを見込んだ思惑で売買が膨らむことがあります。一方で、プライム市場の上場維持基準(流通株式時価総額など)を満たし続けることも求められるようになります。

岡野バルブ製造(6492):年間配当を30円増額

決まったこと:2026年9月期の業績予想と配当予想を引き上げました。経常利益の予想は20.5億円から27.4億円(約34%増)になり、最高益予想をさらに上乗せしました。

条件:年間配当の予想は80円から110円へ30円の増額(期末配当は40円から70円)。増額幅は約37.5%(筆者算出)です。

株主がとれる対応:2026年9月末時点の株主が対象で、手続きは不要です。基準日はすでに過ぎているため、今から買っても今回の期末配当は受け取れません。

論点・注意点:前期は決算期変更による10か月の変則決算だったため、前期実績との単純比較には注意が必要です。

3. 上場廃止・整理銘柄の動き

本日新たに決まった上場廃止や整理銘柄の指定は、確認できた範囲ではありませんでした(JPXの一覧で最新の整理銘柄指定は、前日10月20日のアールビバン)。今後1か月以内に上場廃止となる銘柄は次のとおりです。

上場廃止日	会社名(市場)	コード	理由
2026/10/29(木)	新光商事(プライム)	8141	他社による買収(公開買付け後の株式併合)
2026/11/11(水)	アールビバン(スタンダード)	7523	スクイーズアウトのための株式併合(整理銘柄指定期間は10/20～11/10)

このほか、サツドラHD(3544)は11月25日に上場廃止となる予定です(11月6日の臨時株主総会での承認が前提)。

4．今後の主な日程

日付	会社名(コード)	内容
10/22(木)	BASE(4477)	SBIによるTOBの結果公表(予定)
10/23(金)	エル・ティー・エス(6560)	プライム市場からスタンダード市場へ移行
10/26(月)	イーソル(4420)	TOB(MBO)の決済開始。今後は株式併合などを経て上場廃止の予定
10/27(火)	シェアリングテクノロジー(3989)	TOB期間終了(1株1,550円)
10/28(水)	カカクコム(2371)	TOB期間終了(1株3,682円)
10/28(水)	GAテクノロジーズ(3491)／BASE(4477)	プライム市場へ変更／TOBの決済開始
10/28(水)	10月末権利の銘柄	権利付最終日(基準日は10/30)
10/29(木)	新光商事(8141)	上場廃止
10/30(金)	かどや製油(2612)／レオパレス21(8848)	TOB期間終了(1株2,514円／1,000円)
11/5(木)	日本抵抗器製作所(6977)	TOB期間終了(1株1,901円)
11/6(金)	サツドラHD(3544)	臨時株主総会(株式併合)。承認されれば整理銘柄に指定予定

5．用語の解説

部分買付け(上限付きTOB)：買付ける株数に上限を設けるTOBです。応募が上限を超えると、応募した株数の割合に応じて一部だけが買い付けられ(按分比例)、残りは株主に返されます。上場は維持されることが多く、全株を買い取る非公開化型のTOBとは性格が違います。

市場区分の変更：東証の上場会社が、プライム・スタンダード・グロースの間で所属市場を移ることです。移る先の市場の基準を満たしたうえで東証の承認を受けます。株主側の手続きは不要です。

対象範囲：本レポートは、ウェブ検索等で確認できた開示を整理したもので、全開示を網羅したものではありません。対象期間は2026年10月20日18時ごろ～10月21日20時ごろです。参考として、前日10月20日の引け後に出て本日報道された開示も「その他」に含めました。

プレミアム・増額率など「筆者算出」と記した数値は、公表資料の数値から筆者が計算したものです。エル・ティー・エスの市場変更日は1つの報道でのみ確認しています。取得できなかった数値は「—」としました。

本レポートは、生成AIを用いて公開情報を整理・執筆しました。

出典：日本取引所グループ(上場廃止銘柄一覧、監理・整理銘柄一覧、上場廃止等の決定)、各社の適時開示、SBIホールディングス、株探ニュース、みんかぶ、Yahoo!ファイナンス、財経新聞(フィスコ)、日本経済新聞、北海道新聞、MARR Online、日本M&Aセンター、株基礎、TipRanks、note。

本資料は公開情報に基づく市況の整理であり、特定の銘柄の売買を推奨するものではありません。投資判断はご自身の責任でお願いいたします。掲載内容の正確性には注意を払っていますが、その完全性を保証するものではありません。